

情報連絡員報告・12月分

暖冬、ノロウイルスの影響で年末商戦は苦戦

< 東京都中央会 >

12月の情報連絡員報告によると、製造業の売上高DI（前年同月比）値が連続して悪化したものの、収益状況と業界の景況DI値は製造業・非製造業ともに好転した。戦後最長の景気拡大から期待された年末商戦だったが、「寒さが厳しくないので防寒関係商品が苦戦」、「暖冬、ノロウイルス発生により、生鮮食品の売上げは大きく減少した」、「暖冬のため、小型暖房機の売上不振」等の業界の声が報告された。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計

業界の声

特記事項欄より

「繊維・同製品」

- ・今年はず年に比べて、雪が少なく、寒さも厳しくないので防寒関係商品が苦戦している。（帽子製造業）

「化学・ゴム」

- ・原料高は一段落したが、得意先への値上げ交渉も困難となった。これまでのコストアップを吸収できない状況にある。

（ゴム製品製造業）

「窯業・土石製品」

- ・史上最長の好景気といわれても、一向にその実感が湧かない。原材料・副資材が値上げされているにもかかわらず、そのコストアップ分を製品価格に転嫁できな

い状況にあり、各社の体力勝負になっている。（コンクリート製品製造業）

「卸売業」

- ・暖冬とノロウイルス発生により、生鮮食品の売上げは大きく減少した。そのため、翌年に繰り越す在庫量も増加している。

（食肉卸売業）

- ・ノロウイルス、飲酒運転の摘発強化による外食離れが資材購入に影響している。

（洋食器卸売業）

- ・期待された年末商戦も電子ゲームを除いては、軒並み前年実績を下回り、苦戦を強いられる結果となった。（玩具卸売業）

「小売業」

- ・今年も古書業界の景況は低迷したまま推移し、回復の兆しは見えなかった。

これは消費購買力が回復していない結果ともいえるが、出版不況、活字・読書離れ、ネットの影響、外部大型店の参入等、様々な要因があり、厳しい経営環境が続いている。(古書籍小売業)

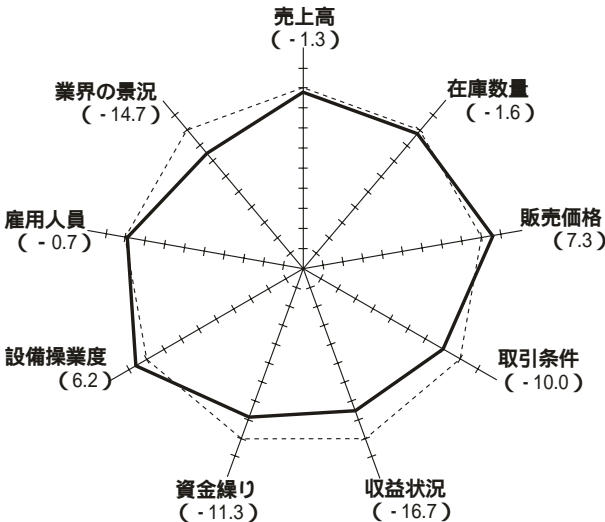
- ・アナログ放送停波まで約4年半となったが、停波までに受信可能世帯が100%まで達するか、不安視する声がある。売上面では大型冷蔵庫、洗濯機が好調、薄型テレビは台数は伸びているが、単価ダウンで売上への貢献はない。(電気機械器具小売業)

「商店街」

- ・パソコンソフト「ピスタ」発売前のため、パソコン本体の売上が低下、またXPソフト搭載機種は価格下落が進んでいる。暖冬のため、小型暖房機の売上不振。

(秋葉原)

12月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)



(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

「運送業」

- ・燃料の高騰は止まったが、水準としては依然高く、収支状況は厳しい。資金繰り状況も徐々に悪くなっている。また、運賃の値上げ交渉も燃料が値下り傾向にあるので難航している。

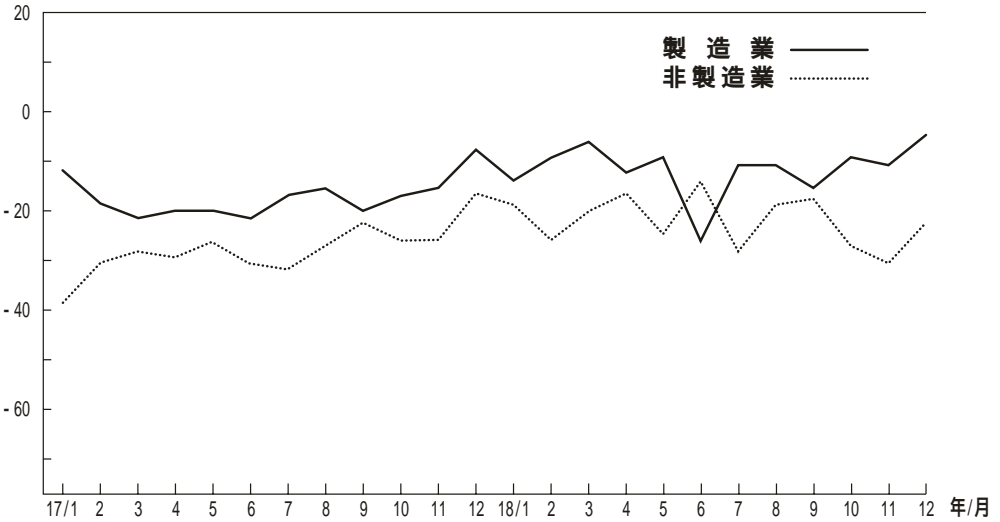
(貨物自動車運送業)

< 要望事項欄より >

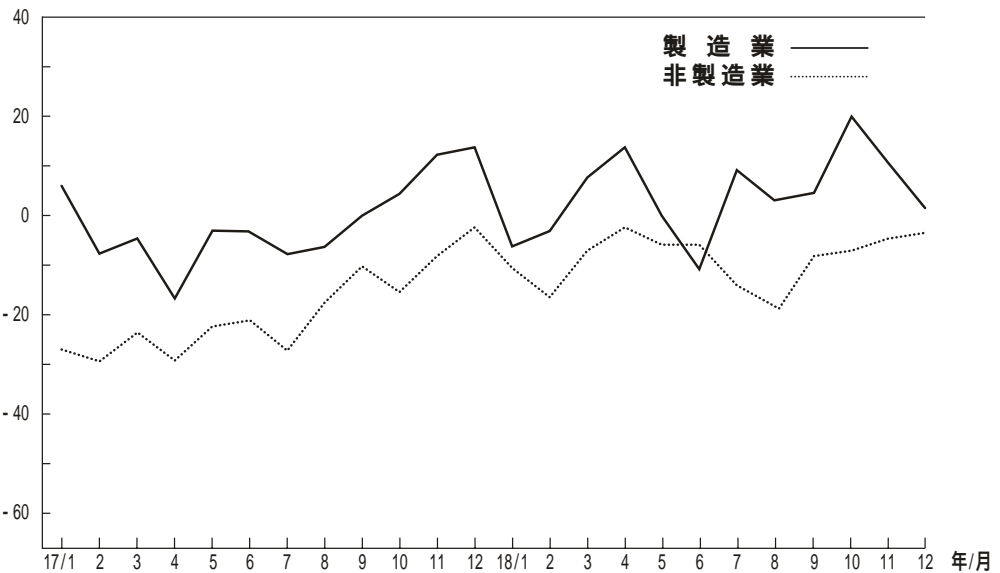
- * 消費を上向かせる、サラリーマン世帯の可処分所得が増えるような政策を要望する。 [建設用金属製品製造業]
- * いつでも、だれでも、どこでも安く・安易に酒類が手に入る日本の飲酒環境の是正をお願いしたい。

[調味料小売業]

業界の景況DIの変化（H17.1～H18.12）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H17.1～H18.12）
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。